

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和5年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原麻溝公園動物広場
指定管理者名	公益財団法人 ハーモニィセンター
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	公共の福祉の増進に資する。（都市公園法第1条） 市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図る。
施設概要	◆相模原麻溝公園内ふれあい動物広場：動物舎12部屋490.55㎡、救護舎3部屋132.00㎡、ポニー舎1部屋340.52㎡、鹿舎1部屋90.00㎡、アライグマ・リスザル舎4部屋65.14㎡、牛・豚舎4部屋88.00㎡ 展示コーナー：常時30種以上の展示、ふれあい動物広場コーナー：常時5種以上配置、ポニー乗馬場：常時3頭以上配置
施設所管課	公園課

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	86,619	82,811	68,988	38,233	52,861	62,588	60,607
利用料金合計（円）	8,558,900	8,188,300	6,814,900	4,607,930	6,805,370	8,049,860	7,761,390

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	達成度は96.2%と未達であった。前年からも2,000人ほど減少しており、厳しい状況となっている。コロナによる利用制限が令和3年より緩和されていたことも踏まえると、利用者数については前年より伸びてほしいところであった。利用者増加に向けた方策が今後の課題であるが、ポニー乗馬については夏場の猛暑や雨などの悪天候などの影響を受けやすいため、運営の方法なども一度見直しを検討するなどし利用者増加に努めていただきたい。

指標1	
指標名（単位）	ポニー乗馬人数（人）
指標式と指標の説明	指標に対する過去の実績値から目標値を設定し、それに対する達成度を算出する。 達成度＝実績値/目標値

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	96,853	96,853	82,500	75,000	75,000	63,000	63,000
実績値（人）	86,619	82,811	68,988	38,233	52,861	62,588	60,607
達成度（%）	89.4%	85.5%	83.6%	51.0%	70.5%	99.3%	96.2%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	事業実施状況については達成度131%の「S評価」となる。実施事業の多くで参加者数が目標値を上回るか、それに近い数値となっており、評価できる。また、動物の餌の販売金額の値上げ対応についても販売数に大きな変動は見られず、売上が大幅に増加していることは収益確保という点からも評価できる。子どもポニーボランティアの育成などにおいては事業者の経験や指導力を大いに発揮し、質の高い技術向上プログラムや指導が行われており、利用者からも好評を得ている点は企業努力の賜物であり今後も継続いただきたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ポニー乗馬	通年(休場日を除く)	ポニーの引き馬 2歳～小学校6年生	◎
小動物とのふれあい	通年(休場日を除く)	モルモットなどの抱っこやふれあい	◎
動物展示	通年(休場日を除く)	展示	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
子どもポニーボランティア	通年(休場日を除く)	ポニー教室のお手伝いなど ポニー教室参加経験者(小学1年生～中学3年生)	◎
移動動物教室	通年(広場業務に支障がないように)	ポニー・小動物を施設に派遣 市内及び近隣市町の公共施設が対象	◎
さがみはらっこポニーキャンプ	年2回	宿泊ポニーキャンプ 市内在住の小学1年生～中学3年生	◎
親子二人乗り乗馬	通年	保護者と2歳から小学3年生	◎
動物の餌の販売	通年(休場日を除く)	小動物・ミニチュアホースのエサあげなど	◎
大きい馬への餌あげ	通年(休場日を除く)	毎月3～4回、馬の餌あげ	◎
特別展示プログラム	夏休み期間	水生生物展示	△
季節プログラム	年8回	季節の行事に合わせた乗馬プログラムや動物との写真撮影	○
健康づくりポニー乗馬	通年	青年から高齢者、要介護者等を対象とした乗馬	◎
お散歩ポニー	年1回	ミニチュアホースの引き綱を持って散歩する	◎
羊毛ワークショップ	3日間	羊の毛刈りショー、毛刈り体験、羊毛クラフト工作プログラム	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	達成度111%の「S評価」となっている。例年高い水準で満足度の実績値が推移しており、今回も高い実績値に対して適正な評価となった。アンケートの意見も全世代からまんべんなく肯定的なものが多く、スタッフや管理者の努力が伺えるもので、引続きニーズに対応した施設運営をお願いしたい。 アンケートの取得数については多い方が良かったため、調査手法についても直接調査だけでなくスマートフォンなどから回答できるようにするなど手法の検討をいただきたい。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	職員が直接アンケートを依頼、アンケートコーナーを設置/262部
目標値の基準	4段階評価のうち「とても思う」「思う」合わせて90%

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	100	100	100	100	100	90	90
実績値 (%)	94	94	98	99	99	100	100
達成度 (%)	94.0%	94.0%	98.0%	99.0%	99.0%	111.1%	111.1%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ポニー教室 保護者アンケート	年6回 各回終了後	年6回開催するポニー教室終了後に保護者へのアンケートの回答を依頼した。毎回、ほぼすべての保護者から回答を得ており、概ね好評を得ている。
動物クラブ 保護者アンケート	年1回 年度末	動物クラブの保護者に対し、期末にアンケートの回答を依頼した。約9割の保護者から回答を得ており、概ね好評を得ている。
ご意見箱の設置	通年	窓口近くにご意見箱を設置し、意見を提出できるようにしている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	経常収支、当期収支ともに黒字であり、経常収入も増加している。公益部門の経常収支は赤字だが、引当金の取崩で当期収支は黒字化している。 投資等もなく、借入金も小さく、正味財産は3億円を超えており、財政状態も問題ない。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)		100,005	93,503	92,930
指定管理料		84,834	84,834	84,834
利用料金収入		6,805	8,049	7,761
その他の収入		8,366	620	335
支出 (b)		88,371	95,533	95,563
人件費		51,291	56,062	59,382
本社管理経費		9,861	10,409	6,533
その他の支出		27,219	29,062	29,648
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		11,634	-2,030	-2,633
自主事業収入 (d)		10,476	11,932	13,908
自主事業支出 (e)		12,262	13,252	13,269
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		-1,786	-1,320	639
全体収支 【(c)+(f)】		9,848	-3,350	-1,994
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施	
実施時期	2024/3/26	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	改善済	情報公開規程の作成により、令和5年度は改善済み
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	ホームページとは別にInstagramのアカウントを持ち、写真や動画を用いた親しみやすい情報発信を行っている。

9 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症による制限は徐々に緩和し、ほとんどのプログラムは定員を増やして実施することができた。ただし、小動物とのふれあいについては制限が残った状態だったため、今後のさらなる回復が望める。自主事業のうち、健康づくりポニー乗馬と親子二人乗り乗馬は特に人気が高く、健康づくりポニー乗馬では実施枠を増やしたが、毎回好評を得ている。親子二人乗り乗馬に関しては翌年度以降に対応を考えたい。動物フェスティバルについては令和5年度において春・秋ともに実施することができ、賑わいが戻ってきたことを実感できた。収支に関しては令和5年度も赤字となってしまった。年度終盤に一部プログラムを値上げしたが、それによるマイナスの影響はほとんどなく好調に推移しており、次年度については大幅な改善が見込めると考えている。

10 所管課意見

ポニー乗馬については達成率約95%となり一定の評価はできるが、利用者増加の方策や手法に取り組む必要がある。ポニー乗馬に限らず、キッチンカーの導入等による利用者の利便性の向上や、施設の魅力を対外的に発信することに今後は注力いただきたい。

一方、子どもポニーボランティアの育成などにおいては事業者の指導力や団体の培ってきた経験に基づく体験教育・社会教育の知見を大いに発揮し、質の高いプログラムや指導が行われ、参加児童生徒の成長に大きく寄与しており、今後も継続いただきたい。ポニー事業全般についても、長年のポニーを用いたプログラム運営の経験や馴致が徹底されたポニーの配備により、利用者の安全が高い水準で確保されている点は、事業者の努力の賜物である。

利用者満足度の高さからも、動物広場スタッフの施設運営に対する力量や質の高さが伺え、スタッフ努力の賜物と考えられる。

令和6年2月より動物の餌の販売価格を値上げ（100円→200円）したが、値上げによる販売数の減少は見られず、売上金額は大幅に上昇している。これは利用者にとって魅力的な事業であることの表れと考える。一方で、天候の影響を大きく受ける事業について、悪天候だった場合の参加人数が伸び悩んでいる。可能な限り予備日を設定するなど、収入の増加及び利用者の体験機会の確保に努めていただきたい。また、特別企画プログラム（近隣施設とのコラボレーションプログラム）について、受動的な展示ではなく、テーマを決めた展示やタッチング等のさらなる工夫により、夏季期間の集客に期待したい。魅力的な施設であることをより市内、市外問わず対外的にPRしていく事で来場者の増加を図り、赤字経営からの脱却を目指していただきたい。

11 選考委員会意見

・専門の管理知識を教授することで植物管理等を外部のボランティア等の協力を得るなどで経費の削減を図ってほしい。また、園路にかかる高木、高齢木については専門家による健全度、安全診断を受け植栽計画を立案し、安全管理に努めてほしい。

・利用者数の増加に対する対策が必要である。利用者数が増加すれば収支も改善され、赤字経営から脱却できると考える。市の広報活動をより積極的に活用する、お客様の前で飼育動物のガイドタイムを取り入れる等新たな創意工夫が求められる。

総合評価（自動判定）

A

(70/100)

